

黒目川の水質と生きもの

文責 黒目川に親しむ会 トモキ

◎水環境とは？

水環境とは「水質と水循環(すいじゅんかん)」です。

水質は「水の性質」の事。水質は後述の水循環によって形作られます。水質を知ることによって水がどこで降って、どこを流れてきたのかを知ることが出来ます！

水循環は「蒸発散(じょうはつさん)から降水、湧出(ゆうしゅつ)から海までの水の一生」の事。木の葉っぱや海から水蒸気になった水は、風によって世界を周り、どこかで雨や雪になって地上に降ります。地上に降った水は、土の中を移動した後「わき水」になって川に集まっていきます。川を流れた水は海へとかえっていきます。土の中にいる時に木に吸われる水もたくさんあります。水質と水循環によって形作られた水環境によって多くの生きものが育まれるのです。

◎黒目川の歴史1

260万年以降に黒目川は出来ました。今は東京都に流れている多摩川(たまたがわ)が、こちらへんを流れていた「なごり」です。黒目川は、そこからずっと自然のまま流れていましたが、人の数が増えてくると「田んぼ」や「物流」、「製鋼」に使われるようになりました。

人がもっと増えてくると黒目川は汚くなってしまいましたが「下水道のふきゅう」と「近くに住んでいる人の努力」によって今ではきれいになりました。下水道のふきゅうがされる前は、トイレやお風呂で使われたきたない水はそのまま川に流されていました。

◎黒目川の歴史2

どれだけ真っ直ぐな板の上を流しても水は必ず蛇行(だこう)します。それは自然の中でも同じです。川は必ず蛇行します。蛇行によって川には、深い所、浅い所、流れのはやい所、流れのおそい所が出来ます。これが川に多様(たよう)な生きものを育むのです。

人の住んでいる近くに流れている川は、「排水(はいすい)」のために真っ直ぐにされがちです。黒目川もかつてはコンクリートで真っ直ぐにされた川でした。

それを2007年頃に「黒目川を多くの生きものといっしょにすめる川にしよう！」と河川かいしゅう工事を行った事で県内でもたくさんの生きものがすんでいる川になりました。

◎川を見てみよう！

川に入る前に川を見てみましょう。黒目川には、深い所、浅い所、流れのはやい所、流れのおそい所が複雑に存在しています。その中には遊ぶには危険(きけん)な所があります。

例えば「浅くて流れのはやい所」と「深くて流れのおそい所」です。

「浅くて流れのはやい所」は瀬(せ)と言います。瀬を歩いて渡ろうとすると危険です。なれない足場につまずいたりすると流れて行ってしまいます。プールとはちがい足がついたとしても、岩や藻(も)、草の関係からすべりやすかったり、つまずきやすくなっている所があります。足元をよく見て川の中では、遊びましょう。

「深くて流れのおそい所」は淵(ふち)と言います。淵は流れがおそいですがふくざつな水の流れが起きています。ふくざつな水の流れにまきこまれてしまうと溺れてしまう危険性があります。淵は、見てもよくわからない事があるので近づかないようにしましょう。

ライフジャケットの着かた

- ①体の大きさにあったライフジャケットを選びましょう
- ②ファスナーやベルトは必ずとめましょう
- ③なるべく体に密着(みっちゃく)するように調整(ちょうせい)しましょう
- ④なかでも股ベルトは必ずとめましょう

◎水質を調べてみよう！

水質を調べるために、一番簡単な方法は「生きものを捕まえてみる事」です。生きものも人と同じで住みたい場所や環境があります。水質を保つ事は多くの生きものに「いい場所だね！」と思っ
てもらうためにも必要なことなのです。

川で生きものを捕まえてみると「きれいな水にいる生きもの」と「きたない水にいる生きもの」が、
どっちも捕まると思います。それはきれいな水ときたない水が混ざっているという訳ではありません。
きたない水にいる生きものは、「本当はきれいな水がいいけど、きたない水でも大丈夫」な生
きものということです。

指標生物 参照

(きれいな水にいる生きもの)

サワガニ、アミカ類、ナミウズムシ、カワゲラ類、ナガレトビケラ類、ヒラタカゲロウ類、ブユ類、ヘ
ビトンボ、ヤマトビケラ類、ヨコエビ類

(ややきれいな水にいる生きもの)

カワニナ類、コオニヤンマ、ヒラタドロムシ類、イシマキガイ、オオシマトビケラ、ゲンジボタル、コ
ガタシマトビケラ類、ヤマトシジミ

(きたない水にいる生きもの)

タニシ類、イソコツブムシ、ニホンドロソコエビ、シマイシビル、ミズカマキリ、ミズムシ

(とてもきたない水にいる生きもの)

アメリカザリガニ、サカマキガイ、エラミミズ、ユスリカ類、チョウバエ類

(下線は黒目川にもいるかもしれない生きものたち)



(サワガニ)



(ヒラタドロムシ)



(カワニナ)



(アメリカザリガニ)